



あさ くら ひで やす
朝 倉 秀 康

コミュニティバスを 利用できない地域への対応は

～狭い道路でも
運行できる車両を検討～

質

コミュニティバスを利用できない地域の交通弱者は、病院や買い物に行くのに週に1度でいいから利用したいとのニーズがあるが。

答

まちづくり推進課長

現在、朝地町のコミュニティバスは、スクールバスとして運行している車両の空き時間を利用して運行を行っています。この車両は26人乗りで少し車両が大きいので、狭い道路では車両との離合や脱輪などの事故の危険性を伴うことから、



道路の狭い所では運行していない状況です。そこで、昨年度朝地小学校へ15人乗りのスクールバスを購入したので、教育委員会と協議し、コミュニティバスとしての利用が可能であれば、要望をいただいた地区の運行ができないか検討します。

観光協会には体制強化が必要

～経営基盤の確立に向け、
営業活動なども検討～

質

本市の観光協会は、合併時の7町の行事がそのまま持ち込まれ、197件の行事をこなしている。

しかし、その体制組織は9年たった今でも変わらず、体制強化が必要と思うが。

答

市長

観光協会や商工会と協力し、「豊後大野市ツーリズム協会」の立ち上げについて、経営基盤の確立に向け、会員の負担金の在り方や旅行社としての営業活動なども視野に入れ、検討していきます。

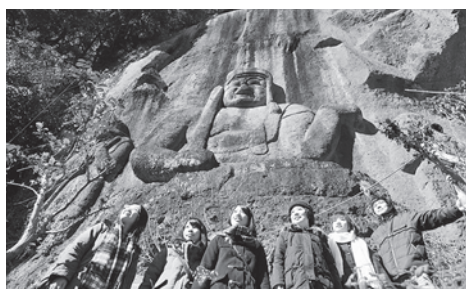
質

※九州オルレ奥豊後コースの対応は。

答

市長

昨年1年間で5232人が訪れており、九州内にある8つのオルレコースの中で奥豊後コースが一番の人気があります。



普光寺の磨崖仏

このコースの保全・整備については、おもてなしも含め、観光ボランティアアガイドの会である「朝地あそび会」を中心に、多くの地域の方々にご協力をいただいているところです。



※その他の質問
・中九州横断道路の
竹田インター開通
後の対策について

※九州オルレ奥豊後コース＝JR朝地駅を起点とし、用作公園や普光寺、竹田市の岡城址などを巡りながらJR豊後竹田駅へと歩く自然と歴史の調和した約12kmのコース。

武道必修化の成果と課題は

～あいさつや礼儀作法は
意義ある体験学習だと認識～



おのゆうじ
小野 勇 治

質

運動欲求が高く、多感な中学校期の武道必修化は、日本人の自覚と誇りを身に付ける人づくりはどう期待されるのか。

答

教育長

伝統や文化の尊重と身を守るための危険回避の体力を高めるなどの運動の特性や成り立ちを学ぶことが目的だと解釈していますし、授業を進める上での重点的な指導目標であると考えています。



今後は武道の精神を生かした指導はもちろんです。道徳や人権教育を通し日常的に豊かな心の醸成に向けて教育実践を続け、学校と地域と家庭で力を合わせ、礼儀作法を身に付けることや、思いやりのある子どもたちを育てることを通し、優しいまちづくりにつなげていきます。

どうする災害対応

～防災・減災体制の強化に努める～

質

災害時の備蓄は、どのような災害を想定し、何をどこに、どのように準備しているのか。

答

市長

非常食や水のほか、毛布、トイレ、発電機、室内テントなどの防災資機材を購入しており、その中で保存期限がある食料品を一度に大量に整備することは効率的でなく、毎年計画的に整備しており、保存期限が残り1年を切ったものは、自主防災組織などの炊き出し訓練用の物資として支援しています。

備蓄品の種類については、東日本大震災の教訓から、今後は高齢者、子ども、女性の視点に立った品物の確保に努めるほか、協定業者を増やし、流通備蓄の拡大を図りたいと考えています。

備蓄場所は、災害時の防災拠点と位置付けています。本庁および支所などに分散保管しています。



千歳支所に保管している防災資機材